

# MONOBE TIMES

教育目標  
○心情豊かな人  
○自ら学ぶ人  
○勤労を尊ぶ人  
○よく考えて行動する人  
○国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838  
Tel 0285-75-0008  
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monoijhsc/>  
ホームページで学校の様子を紹介しています  
ぜひご覧ください



真岡市立物部中学校  
学校だより  
令和2年度 第9号  
令和3年 1月発行

## 校長室から

### 新しい時代に必要な力

保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年は、本校の教育活動に多大なる御支援と御協力を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、コロナ禍の中ではありましたが、学習活動や芸術・文化・スポーツ活動等において、多くの成果を上げることができました。職員一同、改めて感謝申し上げます。さて、先日、1月13日に、政府が新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の対象区域に栃木県を追加しました。期間は、2月7日までとなっていますが、学校においても生徒の健康・安全を最優先に、感染防止対策を徹底して参ります。具体的には、こまめな手洗いや手指の消毒、マスクの着用、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保、教室の換気、学校内の消毒、感染リスクの高い教育活動の制限、土・日の部活動の中止等を行います。また、食事の際はマスクを外さざるを得ないことから、分散給食を再開しました。御家庭におきましても、不用不急の外出を控え、帰宅時には手洗い・うがいを行っていただきますよう、お願いいたします。話は変わりますが、第3学期始業式では、日本人26人目のノーベル賞受賞者である本庶佑先生の言葉を紹介し、生徒たちに奮起を促しました。

校長 1

「挑戦し続けることの大切さ」 本庶佑（京都大学特別教授、2018年ノーベル医学・生理学受賞）  
・人生は一度しかないからチャレンジしてほしい。1回や2回失敗したっていい。失敗しても諦めずに継続すること。  
・やる以上は全力で集中してやる。ずっとやっているとそのうち自分に自信ができて、道は拓けていく。

新年を迎え、生徒たちは、「今年こそは」と思いも新たに、将来の夢を描いたり目標を立てたりしていると思います。生徒たちが生きるこれからの時代では、その夢の実現に向けて、どのような力が必要となるのでしょうか。過去を振り返りつつ、将来を展望してみたいと思います。第二次世界大戦後の急激な人口増加をベースに続いた右肩上がりの経済成長は、経済的な基盤の拡大によって様々な社会的矛盾を吸収しながら、日本社会に大きな成功体験を与えました。また、工業化社会・大衆消費社会であり、経済成長を通じた豊かさの実現という目標が国民の間で広く共有されていた時代でもありました。教育に目を向けても、戦後の学制改革や新たな教育基本法の下に再構築された教育諸制度は、国民の教育水準を大いに向上させ、日本の経済社会の発展の原動力となりました。

しかし、昭和の後半から平成にかけて、内外の環境は大きく変わりました。今の生徒たちやこれから誕生する子供たちが、成人して社会で活躍する頃には、日本は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されます。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、将来の予測が困難な時代となっています。また、人工知能の急速な進化が、人間の職業を奪うのではないかと、今学校で教えていることは時代が変化したら通用しなくなるのではないかと、といった不安の声もあり、それを裏付けるような未来予測も多く発表されている状況です。

そのような中、学校は生徒たちに、どのような力を身に付けさせればよいのでしょうか。時代の変化に合わせて、生徒たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していく力や、様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し情報を再構成するなどして新たな価値につなげていく力、複雑な状況変化の中で目的を再構築することができる力などが求められていると思います。未来を見通しにくい時代だからこそ、取り組むべき課題を自ら設定し、未来を見据えて有効な解決策を創り出す力が重要となることでしょう。

現在、「超スマート社会」(Society5.0)の到来を見越した教育改革や経済産業省主導の「未来の教室」の構築などが進められていますが、本校においても時代の流れを先取りした教育活動を展開し、新しい時代に必要な力をしっかりと身に付けられるよう、改善を図って参ります。生徒たちの明るい未来のために、今年も御支援・御協力のほど、よろしくお願ひいたします。

※ 裏面に続きます



# 新年あけましておめでとうございます



**今**年の干支は「辛丑」。(干支とは、十干十二支のこと。今年は「辛(かのと)の丑(うし)年」)  
 中国の『漢書』では、「丑」は曲がる、ねじるという意味をもち、芽が種子の内部で伸びきらない状態を表しているとされています。もともと十二支は植物が循環する様子を表しているそうです。「丑(うし)」は十二支の2番目で、子(ね)年に蒔(ま)いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくと言われています。

**物**部中学生が明るい未来に向けて、慌てず一步一步確実に成長できるよう教職員一同、力を合わせていきたいと思ひます。



## 表彰の記録 (敬称略)

- ▼芳賀地方芸術祭川柳部門 【入選】 H、U、I、O、T
- ▼芳賀地方芸術祭短歌部門 【特選】 M
- ▼芳賀地方芸術祭書道部門 【入選】 H
- ▼中学生の税の作文 【特賞】 U、N
- ▼芳賀教育美術展 【会長賞】 O
- ▼芳賀地方芸術祭詩部門 【連合会長賞】 N
- ▼人権作文コンテスト真岡人権擁護委員会大会 【入選】 K
- ▼真岡市文化祭俳句部門 【特選】 M
- ▼真岡市文化祭川柳部門 【佳作】 G、D、K、H
- ▼下野教育書道展 【文化祭賞】 O
- 【佳作】 K、T、M
- 【金賞】 U、N
- 【銅賞】 I、T

芸術部門での活躍！  
 コロナ禍に負けない物中生  
 おめでとうございます



## 新型コロナウイルス感染症対策

保護者アンケートに、「学校の新型コロナウイルス感染症対策は？」という不安の声がありました。学校では日頃から、「安全・安心な学校づくり」を意識して対応しています。その一部を紹介します。



1. 換気は常時実施
2. アルコール消毒液の補充も欠かしません。
3. 給食の準備・配膳は手袋(毎日交換)着用
4. 図書室のパーテーション
5. マスク着用は「正しい着用」の啓発

## 立志式(2月4日)

学校の3大式典の一つ、「立志式」。1、3年生に見守られ、改めて自分の「生き方」や周りの人たちへの感謝の念をもつ大切な式典です。コロナ禍、そして「緊急事態宣言」発出の中での「立志式」は、一層、その思いが強く残るものとなるはず。▼今年は1年生が、Zoom配信で視聴の予定です。2年生の決意を、直に感じる事ができなくとも、立志生たちの晴れの舞台を目にし、改めて自分の将来について考えるきっかけとなることを期待します。

## 始業式(1月8日)



▼始業式。校長先生の話は、Zoomで、生徒代表の「新年を迎えての抱負」は放送で、それぞれ行われました。年度の最後のまとめを、しっかりとこないたいです。

1、2年生は進級を見据え、3年生は「有終の美」を飾ります。

